



# 人生、駆ける

～サッカーに青春を捧げた選手たち～

## 益城RFC

は約70人の女性選手からなるサッカーチーム。熊本から「なでしこリーグ参入」を目指して結成され、県下最大のクラブチームとして全国を飛びまわっている。

チーム理念は自主自発。彼女たち選手全員は、プロでもセミプロでもなく一人の社会人として昼間は企業や事業所で働きながら、仕事が終われば総合運動公園に全員集結。週6日の練習に汗を流している。

プロでもなく一人の社会人として昼間は企業や事業所で働きながら、仕事が終われば総合運動公園に全員集結。週6日の練習に汗を流している。

## サッカー

の枠組みを越えて活動しているのも、彼女たちの特徴だ。

町主催のジョギングフェアやままにスポーツ・健康フェスタなどに積極的に参加、協力している。この時の彼女たちは練習や仕事の疲れを一切見せることなく、イベントを楽しみ来場者に笑顔振りまく。ボランティアのスタッフとして準備などの裏方から受付、接客までを手持前のチームワークでこなす。

- ①
- ②
- ③
- ④



①②. 練習や仕事で過密なスケジュールの中、5月に開催されたジョギングフェアではボランティア

で参加。来場者やランナーからは「笑顔や気持ちの良いあいさつが良かった」と好評だった。

③④. 4月19日に行われたホームゲームでの一幕。イベント時の笑顔とは打って変わって、するどい表情で戦っていた。



## Renaissance Record 益城 RFC の歴史

昭和58年、旧飽託郡飽田町飽田南小学校サッカー部の母親たちを中心とするママさんサッカークラブとして発足。昭和60年には中学生も加入し始めたため、昭和62年にママさんチームの「飽田ママ」と、のちに中高生を中心にしたチームになる「熊本レディース飽田」に分離。平成元年には中高生チームが「飽田FCレディース」と改称。九州女子選手権大会で6連覇、全日本女子サッカー選手権大会には出場12回の実績を残し、日本女子サッカーリーグ(Lリーグ)の日興証券ドリームレディースなどに多くの選手を送り出した。

「九州からLリーグを」との期待を受けて平成9年、県酪農業協同組合連合会の協賛により、クラブ名を「マザーズ熊本フットボールクラブ」、チーム名も「マザーズ熊本レインボーレディース」と改称。平成10年、マザーズの主力選手が脱退し新チーム「ルネサンス熊本フットボールクラブ」を結成した。

前身の飽田レディースからの活動開始から約30年。平成23年にはホームタウンを熊本市から本町へ移し、新しく『益城ルネサンス熊本フットボールクラブ』と改称。益城町のチームとして名実ともに生まれ変わった。